

性一
電マ
導ホ
リ

特性高め高濃度化

理学 有機EL用ITO代替

理学（長野県松本市、
清澤浄社長）は山梨大学
の奥崎秀典准教授と共同

で、高い電気導電性を有
し高濃度、低コストを特
徴とする導電性ポリマー



タ
スで
可能
じが
応用
に大
用途
幅広

「RiCP」(アールアイ
シーピー)を開発、販売
を開始した。同製品の特
性を生かして太陽電池や
有機エレクトロルミネッ
センス(EL)などで利
用されるインジウム・ス
ズ酸化物(ITO)代替
材料をはじめとする広範
な用途で市場開拓を進

め、初年度売上高1億円
の達成を目指す。韓国な
ど海外市場の開拓にも取
り組んでいく。
理学は分析装置などを
扱う理化学商社で、これ
まで大学や研究機関、民
間企業の研究開発を支援
してきた。今回開発した
RiCPは、同社が20

10年から新規事業育成
の一環として山梨大学と
共同で取り組んできたブ
リンテッドエレクトロニ
クス分野で利用できる高
濃度の導電性高分子材
料。

最大600 μ S/cm/枚が
という従来製品比6倍の
高い電気導電性を確保。

高濃度化に成功したこと
で、濃度を表す固形分が
従来製品の1・2%に対
し最大3%を達成してい
る。電導度や粒径、固形成
分濃度は用途に応じてカ
スタマイズが可能で、基
礎研究から製品開発まで

幅広く使用できる。

同社は有機ELディスプレイ・照明、有機太陽電池などへの利用を想定。これらに透明電極として搭載されるITOの代替材料のほか、帯電防止材としての活用などを見込んでいる。

同製品は商社の島貿易を通じ販売を展開、すでに国内の大手企業から引き合いが寄せられているという。今後は需要家のニーズに合致したカスタマイズの提案に加え、韓国や中国など海外市場の開拓にも努める。